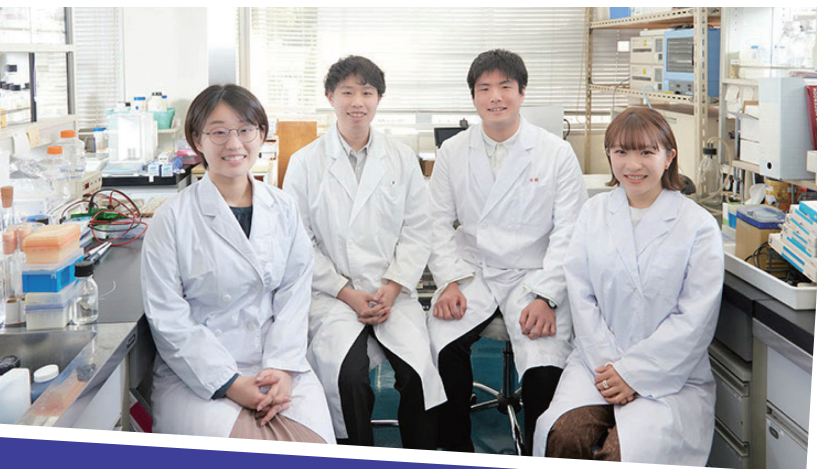


明治大学未来サポーター募金

— 活動報告書2022 — 2022年4月 ▶ 2023年3月



明治から世界へ
一人ひとりの希望を育てる

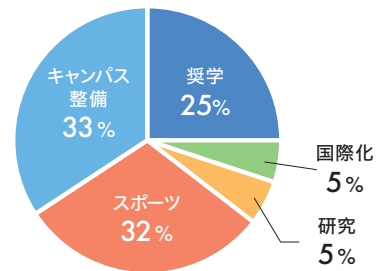


これまでに明治大学未来サポーター募金に頂戴したご寄付の実績と、各資金における2022年度の活動結果をご報告します。皆様からのご厚意が大学の活動にどのように活用されたか、ご覧くだされば幸いです。今後とも末永く、本学のサポーターとしてご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

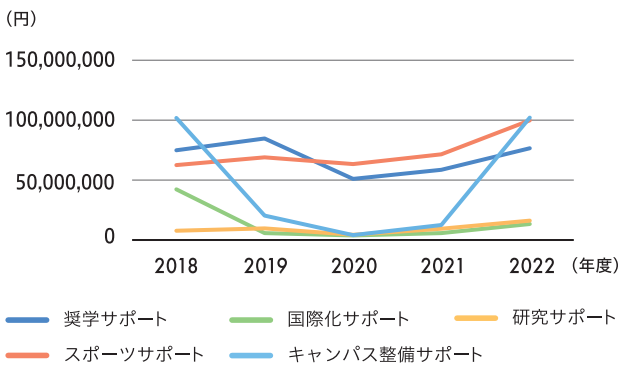
未来サポーター募金受付・実績

2022年度受付				
	個人	団体	法人	合計
件数	3,808	82	26	3,916
金額	¥285,007,412	¥2,707,999	¥19,900,000	¥307,615,411

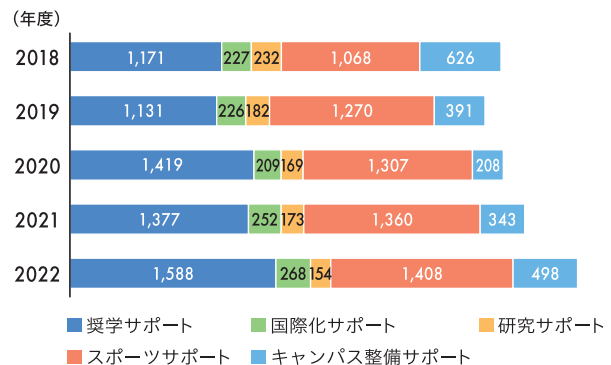
資金別受付		
	件数	金額
■ 奨学サポート資金	1,588	¥76,517,008
■ 国際化サポート資金	268	¥13,544,300
■ 研究サポート資金	154	¥16,167,000
■ スポーツサポート資金	1,408	¥99,266,825
■ キャンパス整備サポート資金	498	¥102,120,278
合計	3,916	¥307,615,411



資金別受付金額年度別推移



資金別受付件数年度別推移



2022年度 未来サポーター募金 各資金別活用状況報告

Support 1 奨学サポート資金 一人でも多くの学生が安心して学業に取り組めるように

● 明治大学未来サポーター給費奨学生30人を採用

未来サポーター給費奨学生として奨学金を支給

明治大学給費奨学生のうち、家計収入が少なく、特に経済支援が必要な学生に対して、明治大学給費奨学金の給付額と、授業料年額1/2相当額との差額を未来サポーター給費奨学金として支給しました。未来サポーター給費奨学金の対象者が2019年度以前入学者のため、採用者は30名となりました。

今後も適切な資金計画のもとに、学生にとって有益な奨学金事業を推進してまいります。



◆本奨学金受給学生からのメッセージ「感謝のことば」

★奨学生の声を一部抜粋してご紹介いたします。

私は遺伝子やその他生物の遺伝に関わる機能について強い関心を持っており、それらの研究が行える明治大学農学部を希望していました。ただ経済的な理由から親には地元の大学に進学するよう言われました。上京して明治大学で自分のやりたい勉強を行えるか、また、家計への負担は大丈夫か、不安でいっぱいでした。

そんな時に大学のホームページで奨学金制度のことを知りました。これなら親を説得出来ると考え、応募してみると採用され、経済的負担も軽く、充実した学習環境が整い、意識の高く共に切磋琢磨しあえる仲間がいる明治大学で学ぶことができています。本当にありがとうございます。



Support 2 国際化サポート資金 明治から世界へ。世界から明治へ。

次の5つの国際化プログラムで資金を活用しました。

- 1 グローバルシナジー・プロジェクト**
国際連携本部が主催する正課外プログラム参加者7名に対し、奨学金を支給しました。
- 2 国際化サポート海外留学奨励金**
国際化サポート海外留学奨励金として、実渡航またはオンライン留学プログラムを受講した学生計232名に対し、奨学金を支給しました。
- 3 国際化サポート外国人留学生奨励金**
本学に在籍する外国人留学生の学習奨励を目的として、成績優秀な外国人留学生22名に対し、奨学金を支給しました。
- 4 文部科学省外国人留学生学習奨励費**
文部科学省外国人留学生学習奨励費、予約枠・渡日前入学許可制度による大学推薦者（日本留学試験成績優秀者該当者のみ）13名に対し、奨学金を給付しました。
- 5 アンバサダーラウンジ運営費**
日本人学生と留学生（主にマレーシアからの留学生）との交流促進、留学生の生活指導、就職支援等を図るため、交流会「アンバサダーラウンジ」を開催しました。



イングランド シェフィールド大学短期海外研修に参加した学生の報告書を一部抜粋してご紹介いたします。

■ プログラムで学んだ内容及び学習成果

Option Class と言って自分たちで選択できる授業から、私は Academic Skills を選びました。この授業では、主にイギリスの大学機関について学びました。最初はイギリスの大学の仕組み（学位や学部、成績の付け方など）について学び、その上で日本や他国の大学との類似点や相違点についてディスカッションをしました。Academic という授業の名の通り、学術的な単語が多く出てきて自分の知識を大いに増やせた上、日本とイギリスの大学機関の違いを知ることのできる広い見識を身に付けることができました。とてもためになった授業でした。

■ プログラム参加前と後での変化

私は勉強に対してすべて机に向かって完璧にこなしたいという考えを持っていました。また、ホームステイでかなり英語を話せるようになったと思ったらもう帰国が近づいたため、この培った英語力が戻ってしまうのではないかと心配でした。しかし、ホストマザーに英語は日常生活でどれだけ使えるかが大事だと言われ、英語に対する姿勢が変わったように思います。身近なことを一人でぶつぶつぶやくことも英語を話すことにつながりますし、これを続けることで何より本当に会話をしたい時などにスラッと文章が出てくると感じています。ポジティブに英語と向き合う、完璧主義を捨てることを学んだ経験でした。

国際日本学部1年（当時）



https://www.meiji.ac.jp/cip/report/report_short.html

国際化サポート海外留学奨励金の支援を受け、留学に挑戦した学生の声を紹介しております。

Support 3 研究サポート資金 最先端の研究を「明治」から

- ① 科学研究費助成事業「基盤研究(C)及び若手研究における独立基盤形成支援(試行)」に採択された廣瀬善大総合数理学部専任准教授の研究基盤整備支援費として活用いたしました。

研究課題 「オッズ比の一致に関する情報幾何とベイズ統計」

研究概要 私は統計科学の研究を行っています。統計科学には理論から応用まで多くの面白い課題がありますが、本研究課題ではオッズ比と呼ばれる量に注目した研究を実施しています。オッズ比は、理論面では扱いやすい性質をもつ量であることが知られており、また医学など多くの応用分野でデータ解析の際に参照されています。本課題では、理論的には幾何学的なアプローチにより性質のさらなる解明を試み、さらにその成果をシミュレーション・データ解析につなげるよう取り組んでいます。

研究成果 皆さまからご支援いただいた寄付金は、理論的な成果を応用に近づけるためのシミュレーション・データ解析を実行するために、計算用サーバ等の導入に活用させていただきました。

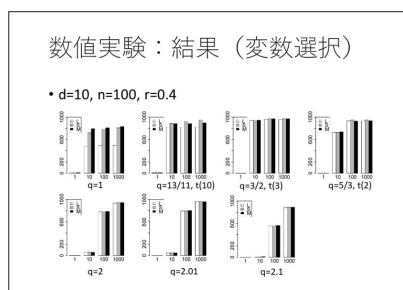
2022年度は、オッズ比に関して理論的・数値的に調べることに加え、応用分野として物理化学における統計的推定の適用にも取り組みました。



廣瀬善大 総合数理学部・専任准教授



導入した計算用サーバ等



シミュレーション・データ解析結果

- ② 科学研究費助成事業「基盤研究(C)及び若手研究における独立基盤形成支援(試行)」に採択された三武裕玄総合数理学部専任准教授の研究基盤整備支援費として活用いたしました。

研究課題 「少ない例示から豊かな反応を生み出す、感覚運動協応を再現した自律キャラクタ表現手法」

研究概要 私はゲームや対話エージェント等に応用されるCGキャラクタの動作を自動生成する手法を研究しています。してほしい動作についていくつかの例を示し、例示に沿いながらその場の状況に応じて多様な反応を行う手法は、多彩なCGエージェントを手軽に作成・利用可能にする手法として重要です。本研究では、例示された動作に、視線移動や手探りといったさりげない感覚行動を挟むことで人らしい反応動作を得ることを目指しています。

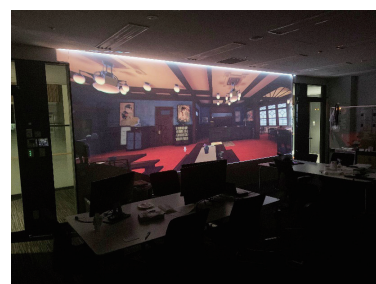
研究成果 皆さまからご支援いただいた寄付金は、動作シミュレーション用PCおよび超短焦点プロジェクタの導入に活用させていただきました。対話的な動作を研究するには、人とキャラクタの自然なやりとりに伴う動作事例を多数取得することが必要です。等身大のCGエージェントを壁面の任意の位置に提示し対話環境を構築できます。得られた多数の動作事例をコンピュータで処理し、動作を生成するためのモデル構築に利用してまいります。



三武裕玄 総合数理学部・専任准教授



導入した PC およびプロジェクタ



プロジェクタを使い研究室とVR環境を接続した様子

Support 4 スポーツサポート資金 トップアスリートの育成を目指して

次の19部で資金を活用しました。

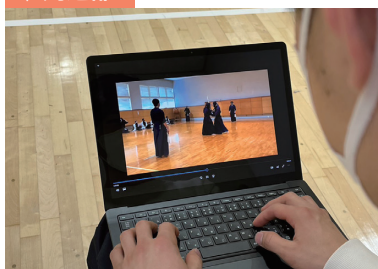
部名	活用内容	部名	活用内容
柔道部	選手3名の奨学金	航空部	新複座練習機購入費 グライダー専用HF無線機6台購入費
剣道部	試合データ分析・動画編集及び管理業務用PC購入費	バレーボール部	iPad購入費
競走部	夏合宿に係る宿泊費 ハードル及びスターティングブロックの購入費 トレーニング機器購入費	レスリング部	選手1名の奨学金
水泳部	レーンロープ購入費	ハンドボール部	物品（テーピング、ボール、トレーニング用品）購入費
射撃部	エアライフル・スモールボアの弾購入費 全日本学生スポーツ射撃選手権大会移動バス代	ヨット部	レース艇購入費 レース艇運送費 レスキューボードレンタル費 ヨット・モーターボートの保険料 大会参加費
ラグビー部	選手2名の奨学金 トレーナー業務委託費	ゴルフ部	大会参加費
スキー部	トレーニング物品購入費 強化合宿に係る費用	少林寺拳法部	部旗購入費
スケート部	部車購入費	アーチェリー部	射場のLED照明増設工事費
自動車部	競技車の維持管理費	自転車部	ウエイトトレーニング用ベンチの購入費 タイヤ購入費
		応援団	夏季合宿のバス代

◆柔道部



全日本学生体重別選手権団体ベスト8に入賞しました。

◆剣道部



PCを購入し、公式戦や練習試合等の課題を可視化し、分析できるようになりました。

◆競走部



練習環境をより充実させることができました。今年こそは箱根駅伝でのシード権獲得を目指します。

◆水泳部



コースロープを新調できました。日本学生選手権総合優勝（天皇杯獲得）を目指します。

◆射撃部



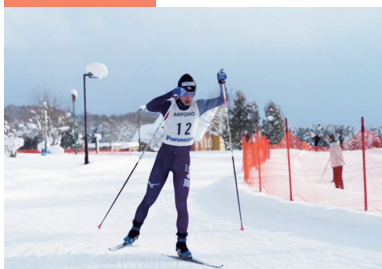
全日本学生選手権大会で11年ぶりに男女ともに総合団体優勝を果たしました。

◆ラグビー部



100周年という節目の年を迎えました。「大学日本一」を目指し、ファンの方から愛されるチームを目指します。

◆スキー部



インカレ総合優勝に向けて、一丸となり全力で練習に取り組んでいます。

◆スケート部



試合道具の運搬車を購入しました。感謝の気持ちを部員全員が持ち、日々練習に励んでいます。

◆自動車部



タイヤ・オイル等、競技車の維持管理に使いました。下級生の技術養成にもつながっています。

◆ 航空部



購入したグライダーASK21Bで、多くの部員や選手を育成していきます。

◆ バレーボール部



タブレット端末の導入により、練習や試合の振り返りや分析を効率化できました。

◆ レスリング部



学業成績並びに活動戦績の優秀な部員の奨学金としました。今後も精進を重ねていきます。

◆ ハンドボール部



トレーニング用品、ボール、テーピングを購入しました。練習の質向上や怪我の防止をすることができました。

◆ ヨット部



レース艇運送費やセール購入費として使いました。物価高騰の中、無事に1年間活動することができました。

◆ ゴルフ部



新型コロナウイルスの影響で縮小していた試合数も回復し、部員一同活躍できる場が多くなりました。

◆ 少林寺拳法部



新部旗を購入しました。立派な新部旗に恥じぬように、本年度も全日本学生大会総合優勝を目指します。

◆ アーチェリー部



設置した照明のおかげで夜遅くの練習も可能になり、部員の技術向上にも繋がっています。

◆ 自転車部



大学対抗選手権での総合優勝をはじめ各大会での好成績を目指します。

◆ 応援団



3年ぶりの夏季合宿のバス代の一部として使い、滞りなく夏季合宿を終えることができました。



* 体育会各部の成績・大会スケジュールは、「明大スポーツ新聞部」及び「MEIJI NOW」でご覧いただけます。

Support 5 キャンパス整備サポート資金 学びの場のさらなる充実のため

長期ビジョン「MEIJI VISION 150-前へ-」を具現化するために、具体的なプランや目標値を設定した「第3期中期計画」および2022年度予算をもとに各キャンパスの施設整備工事に一部充当いたしました。

キャンパス整備サポート資金を活用することにより、快適で安全な教育・研究活動環境の提供に繋がっています。

なお、未充当のものについては、引き続き「第3期中期計画」等によって計画・実施されるキャンパス整備事業のために積み立てさせていただきます。

<施設整備工事内訳>

- 1 駿河台キャンパス記念図書館・研究棟 B2・B3F 図書館照明更新
- 2 和泉ラーニングスクエア建築外構工事
- 3 生田東グラウンド北側フェンス更新工事



和泉ラーニングスクエア

Supporter's Voice

寄付者の皆様より温かい応援メッセージをいただいております。
その中から一部ご紹介させていただきます。皆様からいただくお声は活動の励みとなっております。

私は在学中に大学の奨学金や日本育英会の奨学金に大変お世話になりました。今回ささやかですが未来サポーター募金に寄付させていただきます。明治のますますの発展を祈っています。頑張れ明治！

勉強でも、旅行でもなんでもいい。日本を飛び出して、世界を体感しましょう！！その経験が価値を持つ時が必ず来ます！

国際系の学部生だけでなく特に理系の学生さんが、グローバルな視点を持ち、海外での経験も積んで、世界中の人たちと共によりよい世界をつくる研究をしてもらいたいと思い、ささやかですが寄付をさせていただきます。

応援席で紫紺のタオルを振り、肩を組んでの応援は心躍るものであった。応援団員の観客を乗せるパフォーマンスに感動しっ放しの開幕東大戦であった。頼むぞ、明治！

明治大学の研究が進展し、その研究成果を使った企業が明治大学からスタートアップしていくことを願っています。学生の起業にも期待しております。

社会に出てあと数年で30年になりますが、事あるごとに明治大学を卒業したことの有難さを実感し、感謝しております。我が母校には益々発展していただきたいと思っております。

未来サポーター募金 お申し込み方法のご案内

未来サポーター募金は、明治大学が重点的に取り組むテーマの中から、寄付者の皆さまが寄付金の使い道を指定できる寄付制度です。

指定可能な使い道は、「奨学」「国際化」「研究」「スポーツ」「キャンパス整備」の5つです。

より一層の成長・充実を望む分野を指定してご寄付くださることで、皆さまからの明治大学を応援する思いを直接届けることができます。

明治大学のさらなる飛躍と発展のために、皆さまからのご支援とご協力をお願いいたします。

- 募金期間 4月1日～翌年3月31日（毎年度）
- 受付金額 一口1万円 一口以上何口でも結構です。
また、一口1万円未満でもありがたくお受けします。

●税制上の優遇措置

明治大学への寄付は「所得税控除」及び「住民税控除（居住地によります）」を確定申告により受けることができます。（寄付額の40%～50%相当額の税負担軽減）

▼お申し込み方法

1 専用払込取扱票によるお申し込み

2 口座振替によるお申し込み

一度お申込み頂くと、継続的に金融機関口座から自動引き落としが可能です。「預金口座振替依頼書【指定寄付金申込書】」はHPよりダウンロードいただけます。

3 インターネットからのお申し込み

クレジットカード、インターネットバンキングを利用した決済が可能です。

税制上の優遇措置

▼個人の場合

1 **所得税控除** 「税額控除」または「所得控除」のいずれかの制度を選択可能 **個人の所得状況に応じ、一定の限度額があります**

① 税額控除制度

寄付金額*1から2,000円を差し引いた額の40%に相当する額が、当該年の所得税額から控除されます。所得税率に関係なく所得税額から直接控除されるため、多くの場合において所得税除よりも減税効果が大きくなります。

$$(\text{寄付金額}^*1 - 2,000\text{円}) \times 40\% = \text{所得税控除額}^*2$$

*1 その年の総所得金額等の40%が上限 *2 所得税控除額は、その年の所得税額の25%が上限

② 所得控除制度

寄付金額*1から2,000円を差し引いた額が、当該年の所得から控除されます。所得控除を行った後に所得税率をかけるため、所得金額に対して寄付金額が大きい場合には減税効果が大きくなります。

2 住民税控除

次の都道府県・市区町村にお住まいの個人の方は、住民税控除も合わせて受けることができます。

- 都道府県(寄付控除率4%)：東京都、神奈川県 ※ただし、神奈川県政令指定都市にお住まいの方は2%
- 市区町村(寄付控除率10%)(都県分含む)：杉並区・中野区・調布市(東京都)、川崎市(神奈川県)

$$(\text{寄付金額}^*3 - 2,000\text{円}) \times \text{住民税控除率} = \text{住民税控除額}$$

*3 その年の総所得金額等の30%が上限

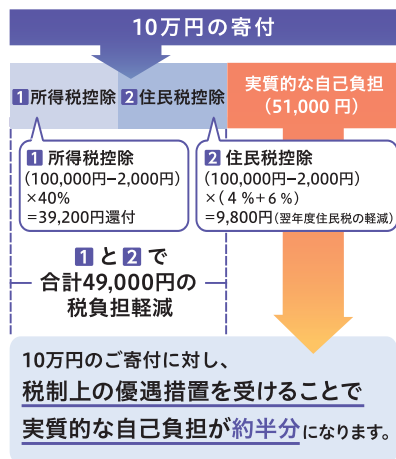
※市区町村によっては、「都道府県の指定を以て、市区町村の指定とする」と定めている自治体もあります。詳細について、お住まいの自治体の市区町村民税担当部署へお問い合わせください。

※②住民税控除の対象とならない自治体にお住まいの場合は、①所得税控除のみ適用となります。

※確定申告をせず住民税の寄付金控除のみを受ける場合は、各自治体に申告してください。

最大で寄付額の約50%相当額の
税負担軽減

(具体例) 東京都杉並区在住のMさんが本学に10万円寄付し、翌年に税額控除制度で確定申告をした場合



▼法人の場合

1 「受配者指定寄付金」 …… 寄付金額全額を損金算入できます。

2 「特定公益増進法人に対する寄付金」 … 一般の寄付金の損金算入限度額と別枠で損金算入できます。

寄付者顕彰制度

各種寄付制度への寄付の総累計額を基準として適用となる顕彰制度です。皆さまからの寄付金は、教育研究の発展のため、有効に活用させていただいております。

◆名譽称号のご案内

累計寄付金額に応じて、名譽称号が授与されます。

寄付の累計額	名譽称号の種類
1億円以上	特別紫紺賛助員 (とくべつしこん)
1000万円以上	紫紺賛助員 (しこん)
500万円以上	暁鐘賛助員 (あけのかね)
100万円以上	白雲賛助員 (しらくも)



◆各種礼遇のご案内

- ① 学内諸行事へのご招待 (ご招待する行事は、称号により異なります)
- ② 学内刊行物の贈呈 (「明治大学広報」と「広報誌『明治』」)
- ③ 広報誌「明治」への芳名掲載 (暁鐘賛助員以上)
- ④ 寄付者総合銘板*への芳名掲載 (紫紺賛助員以上) (*駿河台・リパティタワー 23階)



学校法人明治大学 大学支援事務室

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1 大学会館 3階

TEL : 03-3296-4057・4059 E-mail : bokin@mics.meiji.ac.jp

